

イネドロオイムシの殺虫剤感受性の実態

福島県農業試験場病理昆虫部
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稲－水稲－病害虫防除
分類コード 01-01-23000000

2 担当者

松木伸浩・根本文宏・山田真考

3 要 旨

近年、イネドロオイムシ(イネクビホソハムシ)を対象とした薬剤防除を実施しているものにもかかわらず甚大な被害を受けているほ場が散見されている。この原因の一つとして薬剤感受性の低下が考えられることから、イネドロオイムシの薬剤感受性の実態を調査した。

- (1) 県内数カ所の水田から採集したイネドロオイムシのベンフラカルブおよびカルボスルファンに対する感受性を調査した結果、明らかに感受性の低い個体群が確認された。
- (2) 2薬剤それぞれに対する感受性は、個体群毎に同様の傾向を示しており、既に報告されているカーバメート系薬剤に対する交差抵抗性の現象(城所, 1997)が本結果からも認められた。
- (3) 以上のことから、県内でのカーバメート系薬剤に対する低感受性個体群の発生が確認され、このことが近年のイネドロオイムシ被害要因の1つであると考えられた。

4 その他の資料等

- (1) 城所 隆(1997): イネ害虫: イネドロオイムシ, 植物防疫 51(2): 36～41.